

福祉新聞  
WELFARE NEWS  
복지신문  
VOL

148

社会福祉情報・活動情報誌「きれい」

伊勢亀鈴会

ウェブ検索

# きれい

1日1日を

新たな気持ちで

楽しく生きる

社会福祉法人伊勢亀鈴会

理事長

横山 仁司







松本城

長野県松本市に築城された松本城は、天守が国宝指定されている5城のうちの1つである。天守を囲むように堀が巡っており、漆黒の天守を水面に映す姿はとても美しく、多くの城マニアたちの推し城に選ばれている。

目次

■巻頭インタビュー ————— 1

1日1日を新たな気持ちで  
楽しく生きる

社会福祉法人伊勢亀鈴会

理事長 **横山 仁司**

■ハートフルリレー ————— 6

「葬祭ディレクターについて」

福祉葬祭三重 **中野 良樹**

■なかま ————— 7

「仕事でも遊びでも  
楽しさを求めて」

きれいサポートステーション

**林 岳人**さん

■春夏秋冬 ————— 8

行事・クラブ・活動紹介

■きれいトピックス ————— 16

永年勤続表彰 玉城町権利擁護推進研修会

日本赤十字社表彰状 CBCテレビ

新成人・還暦のお祝い

■職員の休日 ————— 20

私のエネルギーチャージ

八野生活介護センター **水流 千晶**

■きれいかいの動き ————— 表3

新職員・人事異動他

表紙写真

メナード青山

メナード青山リゾートは三重県伊賀市の青山高原に位置する、総合リラクゼーション施設です。標高600mの自然豊かな環境の中、宿泊以外にも、温泉・エステ・ハーブガーデン・創作体験活動など豊富な施設が魅力です。皆さんもゆっくり進む時間の中で、大自然に触れ、心の洗濯をしてみたいはいかかでしょうか？



## 1日1日を 新たな気持ちで 楽しく生きる

社会福祉法人伊勢亀鈴会  
理事長 横山 仁司

今回のインタビューは二見生活介護支援センター潮音の森本・倉田です。緊張していますがよろしくお願いたします。

Q1、毎年新年度発行の機関紙きれいでは横山理事長の巻頭インタビューが恒例となりましたが、毎年どのような気持ちでインタビューを受けていますか？

理事長：常に若い人達に負けないように、新入社員のつもりで毎年このインタビューを受けています。そういう点では幾つになっても新たなチャレンジとして年末年始に柱を決めて「よし！来年はこうしよう」と考えます。前の職場に勤めていた時の社長はどれだけ忙しくても自分を犠牲にしてまで来年の事業計画を集中できる環境に身を置き考えていました。私も怠けてはいけませんと思いました。

Q2、今年も1月4日に理事長からの新年の挨拶と運営方針を拝見させて頂きました。改めてこの2つに込められた理事長の想いをお聞かせ下さい。

理事長：…2つベースがあります。1つ目は利用者さんの「親」き後の「生涯支援」2つ目は利用者さんは障がいがあっても潜在能力を持ってみえますよね？例えば大変な思いをして山に登り、やっと頂上に着いた時の達成感。それを利用者のみなさんにも味わって頂きたいと考えていて、無理かな？難しいかな？と思う事でも工夫したり、少し周りの人達に手伝ってもらったりしてそれが出来る、実現する「自己実現」ですね。この2つの柱をベースに考えています。ベースになる柱はブレずに、継続することが大切だと思います。



**Q3、令和6年度の運営方針に「中核人材の育成・公的資格取得率70%以上の達成」と言うワードがありました。とても印象的だったのですが、この部分について具体的に教えて下さい。**

**理事長**：中核人材と言う言葉は抽象的ですが、私が亀鈴会に着任した16年前までは係長が女性の方1人だけで、全体的な組織図を見て驚きました。5年10年先このままで将来係長や課長、施設長になれる人材が

育たないのではないかと。その時に今の八野、宮の里、南勢で働いていた、係長にもなっていない3人を係長にしました。1月に着任してその5月の事です。1年や2年でいきなり施設長になれる訳でもない。今から10年後、今の係長クラスで施設長になる人を育成しなければいけない。その為に中核人材と位置づけられる職員を大事にし、育成をし、5

年10年後に課長、施設長を担ってもらおうと考えたのです。中核人材の公的資格取得率70%以上の達成は言わば「プロフェッショナル」と言う事ですね。資格を取ると言う事は自信にも繋がる。なのでどんどんチャレンジして欲しいです。介護福祉士や社会福祉士を取得した人が、今から資格を取得しようとしている人達に先生となって教える。そんな仕組みをこれから作って行くかと考えています。スウェーデンは世界でも評価される福祉国家であり素晴らしい国です。日本の中だけでは「井の中の蛙」です。そこで職員の代表2、3人に福祉の勉強の為にスウェーデンへ行ってもらうかと考え中です。私の夢と言いますか希望です。



**Q4、私達は日々の業務を通じて、利用者さんや職員が幸せになっていく事が大切だと思います。しかし、私達は日々の支援に追われて幸せとは何だろうと、ふと思う事があります。理事長にとって、利用者さんの幸せ、職員の幸せとは何ですか？**

**理事長**：利用者さんの幸せ。これは「自立」ではないかと思うんです。自分で出来る事はある。自立の基本ですね。結果的にそれが出来たらグループホームなどに移行し、地域社会と共生出来る。その観点から見ると、自立が利用者さんにとっての幸せではないかな？と思います。一方職員はどうですか？私達は利用者さんを支援する立場ですが、





毎日出勤する時に「さあ今日は何をしよう！」と言つワクワク感。常にそのワクワク感でモチベーションを高める事が仕事をする上での幸せではないでしょうか。職員の心の在り方・考え方ですが、毎日同じ事の繰り返し、昨日の延長が今日、今日の延長が明日ではいけないです。朝を迎えたら新たな気持ちでワクワク感を持ち、仕事を楽しい事が大切です。人間の一生なんて短いじゃないですか。明日自分はどうなっているかわからない。だから1日1日を新たな気持ちで楽しく生きていってもらいたいです。

**Q5、利用者870名、職員390名の幸せを考えて頂いている理事長ですが、年始の能登の震災など想像もつかない事が起きています。伊勢亀鈴会として、有事の時にはどのような対策をお考えですか？**

**理事長**：1番目は潜在的な危機管理で、2番目に顕在的な危機管理です。潜在的とは、これから起こるかも知れない南海トラフなどの有事に備え、避難経路などを常に頭に置き、いざと言つ時スムーズに動く事が出来る、と言つ事です。一方、顕在的とは防災グッズなど目に見える物品の事です。災害に遭った時にまず自分の命が1番大事なのですが、次に大事なのは「水」なんです。衣食住は数日の間に自衛隊の方達が物資など運んでくれたり、倒壊しなかった体育

館や公民館などが開放されたりします。しかし電気が使えなくなると、電気制御されている水洗トイレや水道が止まってしまいます。排泄など本当に困る事です。手が汚れても洗えません。それでは次に必要な物は何だと思えますか？ 東北の震災の時に、亀鈴会からも支援に行かせてもらいました。支援から戻った職員に報告を受けたのですが、みんなが口を揃えて「まず水が必要でした。その次に情報です。全く情報が入らないんです。」と。現地の人達ですら何がどうなっているのか情報が入らないから余計不安になる。自分が置かれている状況や、家族はどうなったか、何処に行けば物資があるのか、炊き出しなども行われているのか等本当に分からない。なので予め施設や家族間で有事の時にはどう動くかどうするか、話し合っておかないといけないと思います。

**Q6、想像もつかない災害や、日々急激に変化する時代に対してどのようなモチベーションで理事長自身は取り組まれていますか？**

**理事長**：新聞は毎朝必ず目を通します。テレビは時間があれば観る。ラジオは車内で聴き情報収集を行い、耳にした事を第三者に話すようにしています。



誰かに話す事によって、自分の記憶として残る。読んだり見た事を脳に入れただけでは再現が出来ない。私はセミナーなどに行った時は2つ程メモを執り、翌日職員に話すようにしています。そうすると再認識し形となり、自分の記憶に残る。どこでそれに気付いたか。某大企業の元社長がとても物知りで、一体どうやって様々な事を知り得ているのだろうかと思議で仕方なかった。そして簡単な事だった。例えば1日で10人と順番に会話をします。Aさんに聞いた話をBさんに。Bさんから聞いた話をCさんに。これを繰り返すと10人分の情報が入ってきますよね。私はてっきり一生懸命勉強をしているとばかり思っていた。だから話の幅が広いし沢山の情報を知っているのだと。日々変化し交錯する情報に対応するべく行動を日頃から心掛けるようにしています。

**Q7、私達インタビューも介護現場で苦手な事もあります。例えばパソコン操作であったりするのですが……。理事長は苦手な事はありますか？あるとすれば苦手な事に直面した時、克服する秘訣はありますか？**

**理事長**…私も苦手な事がいっぱいあります。ありますが私は30才の時にある先輩から1冊の本を渡されて。「上杉鷹山」の伝記ですね。上杉謙信の養子になった人なんです。謙信が積み上げた財産を全て食べてしまうんです。貧乏な城にしまった鷹山は「これではいかん」と目が覚め、百姓達と話しアイデアをもらい、城の中に桑の木を植え、



蚕を飼い、その糸で今の米沢木綿を開発した。反物にし着物をこさえ、それを売って一気に米沢藩を大きくした。そしてかつての上杉藩を再興させた。鷹山の有名な言葉に「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」とあります。誰でも一度は聞いた事があるのではないのでしょうか。私は苦手な事や不可能と思う事でもこの言葉のようにやってみなければ分からないじゃないか、と言う気持ちでいます。

**Q8、これからの伊勢亀鈴会の職員に期待することは何ですか？**

**理事長**…ここ2年間、1番力を入れているのは「個別ケア」です。例えば10人集めて歌を歌いましょう、体操しましょう、これは個別ケアでは無い。10人いれば10人共希望も障がい区分も違う。十人十色です。その人に合った支援を考えなければ。音楽が好きなら30分以上個別に1対1です。個別ケアを究極に追い求めて行くと、最終的には個々の利用者さんの希望する個別ケアが提供出来ると思います。一方的に職員が利用者さんのニーズも聞かずに行動するのは利用者さんに対する支援ではない。思い込みでやらない。利用者さんにとっては迷惑かも知れない。まず話を聞いて欲しい。どんな話でも肯定から入って、そこからどうしたいのか



聞いた上で最適な方法を導き出し、納得の行くように支援をしてもらいたい。

**Q9、** 昨年はコロナ5類に移行し、法人設立40周年の福祉の森まつりが南北で開催され、北は150名・南は90名の来場がありました。開催に至った想いを聞かせて下さい。

**理事長：**今年のテーマは「感謝」でした。地域のみなさんにそれぞれ感謝をする、と言う事でテーマを設けました。結果としてあれだけの人々に集って頂いた。国会議員も来られ「これだけの人数を集められる伊勢亀鈴会のパワーは凄いなあ。」と驚かれています。様々な方に来て頂いたのも有難いが、1番の目的は地域のみなさん、共生する社会づくりの一環としてこういうイベントをやるわけですから、まず来て頂かないといけないですよ。150名と90名、これだけの数は地域との共生・社会を実現する為の理解がないと集まらない。来て頂いた1人1人が感じ取ってもらえたらいいんじゃないかな、と。毎年出演して頂いているベイビープーさんの知名度も上がり、今は売れっ子になっています。とても喜ばしい事です。この森まつり、最初はここ鈴鹿の亀鈴会の横にある、中庭のスペースで催し物をしていたんですよ。「ここより近くに大きな運動場があるから、そこでやればいいんじゃないか。」と提案したんです。しかし職員は「そん

な広い場所では人が来ません。」と。「だったら集めたらいいじゃないか。近隣の自治会長の所へ行き、声掛けをしてもらえよう頼むなどしたらどうか。」と。そこから森まつりは定着して行ったんです。

**令和6年も職員一同頑張ってください。**

**本日はお忙しい中ありがとうございました。**



# 「葬祭ディレクターについて」

福祉葬祭三重 中野 良樹

私は、2005年から一級葬祭ディレクターとして活動しています。縁あって、6年前から福祉葬祭三重の伊勢会館でお世話になっています。

さて、葬祭ディレクターという資格は、葬祭に関わる業界団体が、携わる人々の地位向上と、提供するサービスの一律の向上を目指して、1996年に設立したものです。

審査制度は厚労省の認定を受けていますが、資格自体は国家資格でも何でもありません。ただ、この民間の資格誕生の背景には、死の禁忌に触れる職業として、長く葬祭業が被ってきた差別があったと想像されます。私も先人たちのそういった思いは、真摯に受け止めるべき事と考えています。今、私達があらゆるさまに差別的な扱いを受けることはほぼ無くなりましたが、それでもこの資格は、私たちの内面を支えることも大切な存在となっているのです。少し大仰な言い方ですが、伊勢霊鈴会に雇用され、福祉葬祭三重に奉職している私は、それ以前に、まず葬祭ディレクターとして、「社会と契約している」という意識で働いています。大層な資格では無くても、名乗るには社会的な責任が伴うからです。ご遺体に対して常に尊敬をもって向き合い、公衆衛生に責任を持つこと。そして故人様と、人生の中で関わられた皆様さんとの別れを、より良いものに出来るよう全力を尽くすこと。なおかつそれは、遺族のグリーフケアに配慮しながら、より多くの人が具体的に確実なかたちで参加できるものでなくてはなりません。私たちには人類の歴史の中で培われた、弔いの文化に対する誠実な姿勢と、合理的な技術が常に求められています。(無論、売り上げを伸ばす努力も求められます。)

今年発生した能登半島地震においても、現地で葬祭に関わるスタッフ達が、自ら罹災しながらも連日奮闘していた様子が報じられました。凄惨な被災現場で、公衆衛生とグリーフケアとを、何とかして両立させようと、ギリギリの選択を迫られた機会が何度もあったであろう事は、容易に想像

できます。そして恐らく、苦悩を伴った葬送は、今もなお続いていることと思います。同業の者として、敬意と畏れを抱かずにはいられません。以上、かなり大げさに偉そうなことを書きましたが、実際の現場で、私自身が納得のいく仕事を成した、という実感は実は殆どありません。毎回「あの時、あそこをこうしておけば・・・」もっ少し他の方法があったのでは?といった後悔や反省が、何かしら心に残っています。葬送に、正解を導く公式はありません。すべての葬祭ディレクターは自ずから未熟であり、常に途上にあるのです。



避難場所で安全確認



葬儀の準備を一緒に



会館の準備をします



会館の防災も利用者さんとともに





# 「仕事でも遊びでも 楽しさを求めて」

きれいなサポートステーション 林 岳人さん

今回紹介するのは、サポートステーションで働いて5年目の林岳人さん。

日ごろサポートステーションでは施設外の清掃作業や福祉会館の清掃、供物の作成、会葬礼品の包装など多くの作業に取り組んでいる。

林さんは以前にお好み焼き屋を経営しており、今でもサポートステーションの行事で料理を作る際には積極的に手伝ってくれている。

趣味は読書と登山で、休日には毎週のように鈴鹿の山に登山に行っている。平日も7時にはサポートステーションに来ており、朝から1万歩歩くことが毎日のルーティンだ。散歩をすることで頭がスッキリするらしく、3年間続けている。

令和5年の12月の芸術文化祭では見事手芸部で奨励賞を受賞した。毎月さくらクラブで作品作りに励んでおり、このペーパークイリングという作品はサポートステーションの作業所で作業中に出た切れ端を使って作ったものだ。作業所が出たゴミを再利用して作品作りをしたいという思いから生まれた作品だ。

次の芸術文化祭には現在葬儀に使用しているペーパーフラワーの切れ端で作品を作ろうと努力している。



孤野富士登頂



嬉しいです



ペーパークイリングのカップ



頑張って作りました



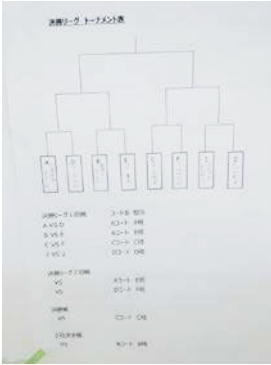
# 八野生活介護センター

## 第1回みえボッチャ交流大会出場

12月9日(土)、四日市市総合体育館にて第1回みえボッチャ交流大会が行われた。八野生活介護センターの通所からは2チーム出場。28チームが出場し6ブロックで予選、1試合2エンドマッチにて勝敗。同点の場合はファイナルショット制度を活用して試合を行った。1チームは予選敗退になったが田辺施設長、板谷支援員、講師の杉浦先生率いる「最強のおじさん」チームが決勝リーグに進んだ。決勝リーグ、第1試合にてファイナルショットまで相手を追い詰めたが惜しくも敗退の結果になった。初めての試合、場所で緊張したが試合後は勝ち負け関係なくチームを讃え合う等、素晴らしい場面がたくさんあった。



試合前の練習



決勝リーグ



最強のおじさんチーム



はちのデイズチーム

活動中には、様々なゲーム体験を行った。リングフィットやアソビ大全、スィッチスポーツなど、さまざまなゲームを楽しむことができた。リングフィットでは、ミニゲームや腕を鍛えるゲームに挑戦した。アソビ大全では、ダーツやボードゲームを楽しむことができた。また、スィッチスポーツではボウリングやテニス、バドミントンなどをプレイした。最初は皆さん、操作やルールに苦戦していたが、徐々に慣れてきて時には職員を負かすこともあった。皆さんはとても楽しみながらゲームに取り組んでいた。今度もやりたいゲームがあると、言っており、他のゲームにも興味を持っていた。

## ゲーム体験



職員もやりながら



ゲーム実践



使い方を教え中



# 放課後等デイサービスURAURA

## 放課後等デイサービスURAURA八野 ウラウラ八野の「バレンタインクッキング」

2月12日(月)から一週間をバレンタインウィークとしてハートやスイーツにちなんだ活動を楽しんだ。その最終日に行われたのがバレンタインクッキング。この日は特別にボランティアさんの参加もあって、いつもと少し違う様子に緊張気味の表情。メニューはフルーチェにチョコレート菓子を添えたスイーツ。その後自分たちで作ったおやつは特別においしい〜とみんなで舌鼓を打った。



こぼさないようにしなくっちゃ...



でてくる でてくる... (ドキドキ)



はいできあがりっ



器が大きくてよかったなあ



たくさんすくっちゃった



トッピングをのせま〜す

2月12日(月)は毎年恒例となったバレンタイン用のチョコレートを手作りした。溶かしたチョコレートをタルト台に流し入れる作業では「むつかしい〜!」と苦労する姿もみられた。トッピングが腕の見せ所。思い思いの材料をのせて自分らしいデザインにこだわるのがウラウラ流。完成したチョコレートはきれいにラッピングして持ち帰った。すぐに食べたい!とおねだりする声もあがった。



できました!ラッピングして誰にプレゼントするのかな?



材料を並べただけでもハートがうきうき



ホワイトチョコははずせないよね〜♡



トッピングにこだわりたい!



ストロベリーチョコはココア色のタルトがおしゃれ

## 放課後等デイサービスURAURA稲生

## ウラウラ稲生の「バレンタインクッキング」



# 八野就労支援センター

## 日中活動 「書」

ほとんどが八野生活介護センターから来られている利用者さんが、昨年10月頃から日中活動で「書」に取り組んでいる。「書」とは心そのままに描く書、自分だけの書で字体も自由、毎回お手本はあるものの、それぞれの思いなども書いている利用者さんもある。最近の様子では、個性的な字を工夫して書いたり、絵を描いていたりと「ここは〜もうちょっと、こんな感じにしたかったなあ〜」など個性的な作品を書いている、職員も挑戦してみると全体のバランスが難しい!!しかし、アンバランスな所が逆に良いかもしれない。筆ペンで書くのが苦手な利用者さんの中にはいるが、作業の合間のひと時を、気持ち切り替えて意見を言い合いながらリフレッシュの時間となり、次の作業にも意欲的に取り組まれるようになった。今後も利用者さんの、ほっこりと心温まる作品が楽しみだ。



真剣な表情!



みなさんの作品



とても上手ですね!



たくさん書きました!



何を書こうかな?



良い一年でありますように



今年の運勢は・・・?



手を清めましょう

## 初詣にいきました

1月13日(土)、飯野神社まで初詣のため、外出をした。  
楽しそうに境内でお話やスキップをして過ごされ、笑顔の方がほとんどであった。  
利用者さんの中には、ご家族の合格お守りを買われた方もおり、目的を達成し満足そうであった。



鳥居の前で記念撮影



## きれいなサポートステーション

### さあ、ゲームをはじめよう

2月10日(土)にサポートステーションでe-sport大会を開催した。今回で6回目となるe-sport大会には多くのゲーム好きの利用者さんが集まった。今回もゲームは大乱闘スマッシュブラザーズとマリオカート8だ。チームを2つに分けてチーム戦での戦いとなった。

マリオカートではボタンを押すところを押さずにハンドルを間違えて傾けている人もおり、またスマッシュブラザーズでは間違えて自滅してしまう人もいて、笑いが絶えない試合となった。ゲームに参加して

いない人も自分のチームの利用者さんを応援したり、試合までの空き時間にトランプなどのテーブルゲームを楽しんでいる姿もあった。

試合後には勝利チームから先にお楽しみの景品選びタイム。どれにしようか迷う姿も多々あったが、自分のお気に入りの物をゲットできた姿はともうれしそうだった。ゲームを好きな利用者さんは多いので、来年度も開催していきたい。



皆が注目!!



待ち時間にトランプ



やったぜ～



どれにしようかな?

### 市バスと電車で学ぶ交通マナー



切符購入



初めての運賃支払い



バスの時間はー



これは入れないとね!

2月15日(木)に利用者7名に対して市バスや電車の乗り方を勉強する交通マナー講習を実施した。出発はサポートステーションから。サーキット道路の市バスの時間を確認して、いざ乗車。バスに乗ったことはあるが、運賃を払うのは初めてという利用者さんもおり、少し緊張しながら支払いをした。

昼食は鈴鹿イオンモールのフードコートで自分の好きなものを食べて大満足。続いて平田町駅まで移動して、伊勢若松で乗り換え白子駅まで。朝の9時から15時までのほぼ一日のマナー講習となった。時刻表の確認や運賃の支払いなど、改めて勉強することが多かったとの声を聞き、来年度もお出かけをしながら楽しんで交通マナー講習をしていきたい。



# 南勢就労支援センター

## 新年度からワクワク

新年最初の開所日、午前10時から下外城田神社へ「初詣」。皆で1年間の無病息災、商売繁盛など祈願し、新成人、還暦の利用者さんは玉串奉納をした。南勢に戻ってからは、今年の抱負などを書初めにした。



新年の祈願



書初めに気持ちをこめて



ドキドキ…何が出るかな



大吉だよ！



大吉ゲット！

書初めに気持ちをこめて、3名の方をみんなでお祝いした。新年からイベントいっぱい南勢。今年もみんな楽しく盛り上げていきたい。

1月13日(土)は「鏡開き」を開催。「よっこいせー、どっこいせー！」の掛け声とともに、杵と臼を使った餅つきを体験。ついた餅は、みんな美味しく頂いた。その後、オリジナル南勢神社くじを引き、大吉、凶で一喜一憂されていた。その後、「還暦・成人の祝い」をし、

1月4日(木)の午後はお休みでなまっただ体を動かして宮川堤に出かけ、凧あげ、バドミントン、縄跳びなどで、みなさん元気いっぱい駆け回って大笑い。



伸び伸びプレイ中



上手に上がるかな



みんなといると楽しいね



お汁粉もおいしいよ



お餅でお腹いっぱい



どっこいしょー！



うんとこしょー！



## 第2南勢就労支援センター

### カラオケ大会

2月のクラブ活動では皆さんの希望の多かったカラオケ会を実施した。

コロナも5類になり、外出もできるようになったことから、3班に分けて近くのカラオケボックスに向かった。

感染対策を行った上で、皆さんそれぞれがしっかり順番を守り、好きな歌を次々に予約していく。

部屋の中に響き渡る自慢の歌声はとても大きく心地よいものだった。

ぜひ、他の事業所の方にも聞いていただきたい。



お気に入り大きな声で



しっとり歌うのもお手の物



熱唱

### ジャム販売

コロナが5類になったこともあり、昨年途中より外部イベント等でのジャム販売が再開された。

日々、皆さんが気持ちを含めて一生懸命作ったジャムを利用者さん自らの手でお客さんに販売する事は、利用者さんの思いが直接伝えられる機会でもある。

大きな声で呼び込みをし、近くに来てくれたお客さんにジャムの説明をする。作っている人が直接見えるため、お客さんも安心して買っていただける。

販売経験がなかった利用者さんも、先輩のそんな姿を見て見よう見まねから販売経験を得ていく。

販売を通して外部の方と交流する機会は、利用者さんの成長をさらに加速させていく大きな機会のため、これからも積極的に、明るく、数々のイベントに出店していきたい。



ミジュマルと2ショット



たくさん売るぞ！



## 宮の里ミタスメモリアルホーム

### 楽しいケーキ作り

12月25日(月)、クリスマスケーキ作りを行った。

ホイップに苦戦したり、盛り付けを相談して工夫したりと、どのグループも利用者さんと職員が協力して笑顔いっぱい楽しい雰囲気だった。

個性が出て、綺麗に出来上がったケーキは美味しく、皆満足そうな様子だった。



ホイップ難しい



上手くできるかな



納得の出来!



ケーキ完成!

### 誕生日会



すてきなお祝いの飾りを背景に記念撮影

2月8日(木)、食堂にて誕生日会を行った。  
利用者さんはハッピーバースデーの歌を歌ったり記念撮影をしたり楽しい時間を過ごされた。  
その後利用者さんの希望に合わせて準備したケーキかハンバーガーを美味しくそつに食べられ会話ははずんだ。



ケーキ大好き



いただきます



ハンバーガー美味い



おいしそう!



## 二見生活介護支援センター 潮音

### 節分で鬼退治



これでもくらすえ!!



後ろでギャーギャーやってるよ!



はい!チーズ!!



悪い子はいねーか??



鬼なんかこわくない!



鬼は外!!パート1



私がおとりになるわ!



あんた、誰!?



鬼は外!!パート3



鬼は外!!パート2



真剣白刃取り!!



怖がってます!?



僕もやっつけるぞ!!



優しく鬼は外!!

2月3日(土)、潮音では利用者さん・職員の無病息災を祈願して節分行事を行った。利用者さん自身が折り紙や新聞紙を丸め作成した玉(豆)を投げ、鬼退治をした。豆に見立てたタマゴボーロを食べ、節分のいわれ話に耳を傾けていた。その後、鬼に扮した副施設長が登場するとみんなはびっくり!怖がりながらも一生懸命丸めた紙を投げる利用者さん、中には鬼とのツーショットを求める利用者さんなど楽しみ方は様々。鬼が去った後も興奮冷めやらぬ様子で「楽しかった!」との声があった。帰宅前には玄関先で本物の豆を撒いてもらい、送迎車で帰路に就く利用者さんや、迎えに来られたご家族さんも一緒に豆まきをされ喜んで頂くなど、一体感のある楽しいイベントとなった。







## 玉城町権利擁護推進研修会

権利を守り、自分らしい暮らしを地域で支える。認知症のひとも、障がいのあるひとも暮らしやすいまちづくりをテーマに玉城町権利擁護推進研修会が令和6年1月18日、玉城町保健福祉会館ふれあいホールにて行われた。参加者は約80名で、権利擁護支援・成年後見制度に関心がある皆さまが参加された。第一部では公益社団法人コスモス成年後見サポートセンター―三重県支部による演劇で行政書士の先生方が認知症による詐欺被害に遭わないための成年後見についてわかりやすく演じていただきました。第二部では社会福祉法人伊勢亀鈴会理事長横山仁司による『成年後見人と社会福祉法人の連携』について講演を行った。



## 日本赤十字社三重県支部 支部長表彰状



12月1日、日本赤十字社三重県支部より支部長表彰状頂く。日本赤十字社の活動資金への寄付金額が10万円以上となったため、日本赤十字社三重県支部より社会福祉法人伊勢亀鈴会に支部長表彰状をいただきました。

## CBCテレビで伊勢亀鈴会が紹介されました

1月31日㈫にCBCテレビ報道番組「チャンネル」の「よしお兄さんのみえ推し」コーナーに当法人が紹介されました。

これは、当法人の障がい者雇用実績に対し、三重県から知事表彰（障がい者雇用優良事業所）を受賞したことを受けて番組に出演する事となりました。

番組内では横山理事長へのインタビュー、就労商品の紹介、まかせ太君の現場取材、実際に働く障がい者従業員へのインタビュー等があり、たくさんの方の視聴者に障がい者就労の現状、日頃の障がい者の皆さんの頑張りを知ってもらう貴重な機会となりました。





## 八野生活介護センター

祝・還暦



横田 浩

祝・成人



中林 大和

祝・成人



田中 陸



## 八野就労支援センター

祝・還暦



岩田 猛

祝・成人



岩間 敦士

祝・成人



松下 幸多朗



## きれいサポートステーション

祝・成人



高山 恭輔

祝・成人



前迫 竜成

祝・還暦



鈴木 美津之



## 南勢就労支援センター



祝・還暦

杉本 佳昭



祝・成人

海上 夢月



祝・成人

作田 虎汰郎



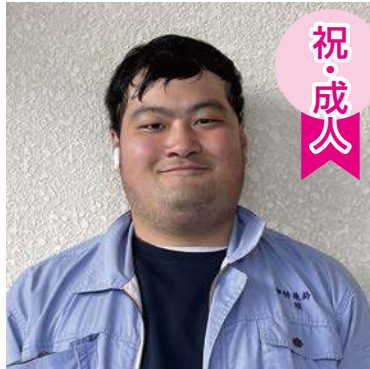
## 第2南勢就労支援センター

## 宮の里ミタスメモリアルホーム



祝・成人

五島 徹也



祝・成人

堤 幸紀



祝・還暦

片岡 正仁



祝・還暦

野田 訓也



## 二見生活介護支援センター潮音・宮の里ミタスメモリアルホーム



祝・成人

杉原 美玖



祝・成人

杉原 理子



祝・成人

中村 優太



祝・成人

小島 愛心



# 職員の休日

OLIDAY

私の休日は、お家時間を大切にしています。休みのほとんどを趣味でもある掃除に費やしていて、気付けば一日中掃除している時もあります。特に床の雑巾掛けは夢中になり、気持ちが入ってスツキリする瞬間です。

ピカピカになった家にいるだけで、気分が良くなり1週間の仕事の疲れがリセットされます。掃除の次に取り掛かるのは、趣味の観葉植物のお世話です。

観葉植物の種類によっては、こまめに手入れをしないと弱ってしまっているので、観察やお手入れが欠かせません。栄養剤のやり方や水やりの回数を色々勉強をして我が家にある約20鉢程ある観葉植物は、毎日生き生きと元気に育ってくれています。

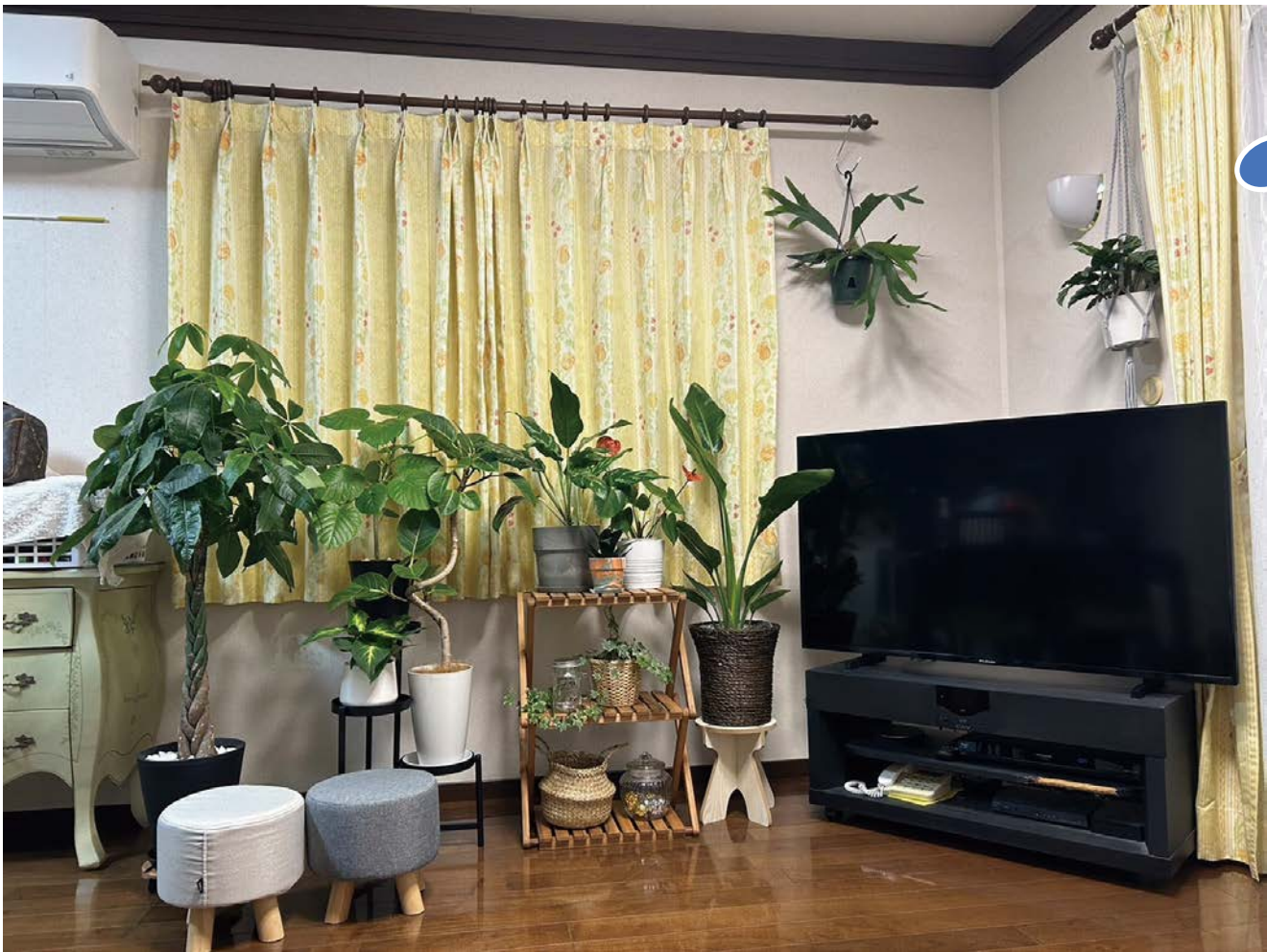
毎朝ピカピカの家と生き生きした観葉植物を見ているだけで、今日も仕事頑張るぞ！と気持ちも前向きになれます。

私のエネルギーチャージの為に、休日の掃除と観葉植物のお世話は、不可欠です。

## 私のエネルギーチャージ

八野生活介護センター

水流 千晶





八野生活介護センター



伊藤 卓也

二見生活介護支援センター潮音



前田マリテス



山下 圭子

宮の里ミタスメモリアルホーム



村瀬 清子



岩塚 牧子



井上 美代子



岩崎 美華



(ほのか)  
森田 萌花

※掲載中の写真におけるマスクの取り外しについて

各施設とも感染症対策のため、マスク着用は徹底しておりますが、一部の記事ではマスクをしていると表現が伝わらない部分もありましたので、マスクを外して撮影させていただきました。ご協力ありがとうございました。

編集後記

二見生活介護支援センター潮音の森本です。令和6年度、初回の巻頭インタビューでは理事長に普段お伺いできないようなエピソードなどを聞かせて頂きました。理事長のお言葉には、利用者さんや職員への想いがあり、心に残るインタビューとなりました。亀鈴会の一員と言う自覚を忘れずに、これからも頑張っていきます。そして、発行に関わられた皆様にお礼申し上げます。

ご寄付をいただきました。  
ありがとうございました。

ご寄付 2023.12.1~2024.2.29

福祉葬祭三重

浄土真宗本願寺派 西方寺様  
真言宗 一心寺様  
真宗高田派 法流寺様  
真宗高田派 真善寺様

ボランティアさん募集!!

八野生活介護センターと宮の里ミタスメモリアルホーム、二見生活介護支援センター潮音では、昼間ボランティアさんの趣味・特技を活かし利用者さんと一緒に活動していただける方を探しています。

現在、俳句・読み聞かせなど、ボランティアさんに来ていただいておりますが、利用者さんと娯楽(卓上ゲーム等)・園芸・話し相手など気楽に接していただける方も募集しております。

ご希望の方は、ぜひ一度各施設までお問い合わせください。

問い合わせ

八野生活介護センター 担当:高田 TEL059-378-8881  
宮の里ミタスメモリアルホーム 担当:加藤 TEL0596-58-5030  
二見生活介護支援センター潮音 担当:森本 TEL0596-72-8822



きれいな通信 **ちょっと寄り道!!**

津 阿漕海岸に伝わる孝行息子・平治の悲話

阿漕塚



- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所  
**八野生活介護センター**  
 指定放課後等デイサービス事業所  
**URAURA八野**  
 〒513-0837 鈴鹿市八野町428番地の1  
 TEL.059-378-8881(代) FAX059-379-3223  
 e-mail hachino@kirei.or.jp
- 指定放課後等デイサービス事業所  
**URAURA稲生**  
 〒510-0205 鈴鹿市稲生4丁目19-6  
 TEL.059-392-5130(代) FAX059-392-5131
- 指定就労継続支援事業所・指定生活介護事業所  
**八野就労支援センター**  
 〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1  
 TEL.059-378-6622(代) FAX059-378-5335  
 e-mail hachino2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所  
**福祉の森の家 体いいおにぎり屋**  
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30  
 TEL.059-380-6355 FAX059-367-7377
- 指定共同生活援助事業所  
**グループホームきれい**  
 〒510-0254 鈴鹿市寺家7丁目11-30  
 TEL.059-388-1508 FAX059-388-1508
- 指定共同生活援助事業所  
**グループホームきれい 空羅多ガーデン**(空らたがーてん)  
 〒513-0207 鈴鹿市稲生塩屋2丁目1番5号  
 TEL.059-388-1882 FAX059-388-1882
- 指定共同生活援助事業所  
**グループホームきれい 亀山 第1栗の木ヴィレッジ**  
 (第1) 〒519-0166 亀山市布気町1446-2  
 TEL.0595-96-8182 FAX 0595-96-8182
- 指定共同生活援助事業所  
**グループホームきれい 亀山 第2栗の木ヴィレッジ**  
 (第2) 〒519-0166 亀山市布気町1446  
 TEL.0595-96-8183 FAX 0595-96-8183
- 指定共同生活援助事業所  
**グループホームきれい 御糸の杜**(みいとのもり)  
 〒515-0354 多気郡明和町丁目131  
 TEL.0596-55-6800 FAX 0596-55-6800
- 指定共同生活援助事業所  
**グループホームきれい みや川**  
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前31-2  
 TEL.0596-20-8530 FAX0596-20-8531
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所・指定就労定着支援事業所  
**きれいサポートステーション**  
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1  
 TEL.059-388-0864 FAX059-367-7911
- 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業・指定一般相談支援事業所  
**きれいライフステーション**  
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1416-1  
 TEL.059-340-7997 FAX059-367-7050
- 指定障害者支援施設・指定生活介護事業所・指定短期入所  
**宮の里ミタスマメモリアルホーム**  
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18  
 TEL.0596-58-5030 FAX0596-58-5033  
 e-mail miyanosato@kirei.or.jp
- 指定特定相談支援事業・指定障害児相談支援事業  
**宮の里ライフステーション**  
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古728番地の18  
 TEL.0596-58-8588 FAX0596-58-5033
- 指定生活介護事業所・指定短期入所  
**二見生活介護支援センター 潮音**(しおね)  
 〒519-0609 伊勢市二見町茶屋310番地  
 TEL.0596-72-8822 FAX0596-72-8823
- 指定就労移行支援事業所・指定就労継続支援事業所  
 指定就労定着支援事業所・指定生活介護支援事業所  
**南勢就労支援センター**  
 〒519-0427 度会郡玉城町宮古守鉄砲塚728番地の18  
 TEL.0596-58-0101(代) FAX0596-58-6742  
 e-mail nansel@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所  
**お弁当屋 潮音**(しおね)  
 〒516-0609 伊勢市二見町茶屋310番地  
 (二見生活介護支援センター潮音内)  
 TEL.0596-72-8808 FAX0596-72-8817  
 e-mail obentoya-shione@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所  
**第2南勢就労支援センター**  
 〒515-0347 多気郡明和町志貴里中1134-3  
 TEL.0596-55-6711(代) FAX0596-55-3535  
 e-mail nansel2@kirei.or.jp
- 指定就労継続支援事業所  
**福祉葬祭三重 福祉会館 白子**  
 〒510-0236 鈴鹿市中江島町14-12  
 TEL.059-380-1711 FAX059-380-1712
- 指定就労継続支援事業所  
**福祉葬祭三重 福祉会館 鈴鹿南**  
 〒510-0253 鈴鹿市寺家町1247-1  
 TEL.059-380-1717 FAX059-380-1720
- 指定就労継続支援事業所  
**福祉葬祭三重 福祉会館 津**  
 〒514-0014 津市港町18-12  
 TEL.059-213-1717 FAX059-213-1771
- 指定就労継続支援事業所  
**福祉葬祭三重 福祉会館 伊勢**  
 〒516-0013 伊勢市鹿海町656-1  
 TEL.0596-26-3170 FAX0596-26-3025
- 社会的事業所  
**まかせ太君**(鈴鹿)  
 〒513-0836 鈴鹿市国府町字高野3917-272  
 TEL.059-370-8118 FAX059-370-8119
- 社会的事業所  
**まかせ太君**(伊勢)  
 〒519-0504 伊勢市小俣町宮前741  
 TEL.0596-63-5450 FAX0596-63-5451

月の夜の何を阿古木に啼く千鳥

松尾芭蕉

句意

月夜の阿漕浦に何かもの悲しく千鳥が啼くのが聞こえてくる。まるで平治が沖で網を引く音のようにも思える。

津市柳山津興の住宅街の中に「阿漕塚」と呼ばれる小さな石碑が佇んでいます。この塚にまつわるのが、阿漕平治の伝説です。その昔、阿漕浦に平治という親思いの漁夫があり、病弱な母親に魚を食べさせたい一心で禁漁区である阿漕浦で密漁を繰り返していました。ある日「平治」と書かれた笠を浜辺に置き忘れたことで役人に捕らえられてしまい掟通り平治は簀(す)巻きにされ、非情にも阿漕の沖に沈められてしまいました。

そんな非業の死を遂げた平治の鎮魂と孝心を讃え、地元の人々によって石碑が建てられ現在も毎年、処罰されたとされる8/16の夜、阿漕平治盆

供養が開催されています。また平治の笠を形どったお菓子は津市の銘菓として古くから市民に親しまれています。



〒514-0812津市柳山津興622

指定就労継続支援B型事業所

印刷

**八野就労支援センター**  
**きれい印刷工場**

〒513-0837 鈴鹿市八野町22番地の1  
 ☎059-375-4381 FAX 059-340-8810 e-mail insatsu@kirei.or.jp